

# オイスカ通信

NO.81

平成31年1月吉日



岐阜県支部

## 新年明けましておめでとうございます

皆様良いお年をお迎えのこと拝察申し上げます。今年は平成最後の年になると同時に新しい年号に変わる記念すべき年でもあります。日本の伝統文化・日本人の心等、受け継ぐべきもの、連綿として繋ぐべきものもあると思います。

最近「SDGs」という言葉をよく耳にします。「持続可能な開発目標」をいい、気候変動、海洋・陸上の生態系の保全、森林管理など包括的に対応していくことを目指します。これはオイスカの理念にも通じる事でもあります。

昨年も、ミャンマー・フィジーから「子供の森親善大使」を受け入れました。森林の維持・海面の上昇など大きな課題を持って活動しています。東日本大震災復興海岸林再生プロジェクトにも参加いただきました。他にも、事務局からブラジルの植林に参加し、海外における植林の取り組みが如何に地球温暖化防止に重要かということを理解したところです。

岐阜県支部も更なる飛躍を目指して一步を踏みだしていきたいと思えます。皆様の相変わりませぬご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年一年が皆様に素晴らしい年であることを祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

岐阜県支部会長 小川信也

### \* 柳津小学校文房具贈呈式

12月12日（水）に柳津小学校で文房具贈呈式が行われました。

柳津小学校では11年間に亘り、生徒に呼びかけ不要になった文房具と、エコキャップ（ペットボトルのキャップ）を集め、オイスカを通して海外の学校に送っています。昨年はカンボジアとモンゴルに送りました。又エコキャップは業者に販売し、収益金をオイスカ「子供の森」計画に寄付し海外の子供達に植林活動の支援をしています。



贈呈目録を渡す生徒代表



生徒代表と柳津小学校河村校長・PTA代表

## \*ブラジル訪問報告 (平成 18 年 1 月 14 日～23 日)

成田からワシントン経由で 28 時間のフライトでブラジルを訪問して参りました。

主な目的は、サンパウロ州クーニャにおける植林です。この事業にはオイスカブラジル総局の呼びかけに応じ 野口 泰 在サンパウロ日本総領事をはじめ、日本より 3 名とアルゼンチンとパラグアイ在住のオイスカ会員、ブラジルコチア青年団、ブラジル日本移住者協会、クーニャ在住日本人陶芸家と地元の方等多数参加しました。(世界を繋ぐ友情の森事業と名づけられています)



野口 泰日本総領事と植林



昼食懇親会で挨拶をされる総領事



植林に参加した人達

この事業は 2017 年 1 月に中野良子オイスカ総裁のキックオフで始まり 2 年目を迎えました。そもそもの経緯は、オイスカブラジルが 2008 年日本人ブラジル移住 100 年を記念してサンパウロ州政府所有のチエテ公園 (1600 ha) の一角 10 ha を整備し、州政府や日系人に呼びかけ又日本の企業やブラジル商工会議所などの協力を得て 10 万本の植樹を行いました。(日伯友情・21 世紀の森と命名) 又、2012 年 3 月には東北大震災の犠牲者を慰霊するため同じサンパウロ市内の公園内 5500 平方 km の土地に 2 万本の植樹を行った(日伯友情・絆の森)という実績をふまえ、ブラジル政府が COP21 の会議で 1200 万ヘクタールに植林することを公約、その内 10 万 ha・50 万本の植樹をオイスカ・ブラジルに依頼してきたのです。その公約を実行しているのはまだオイスカブラジルのみです。



「日伯友情・21 世紀の森」にて



東北大震災犠牲者慰霊の「絆の森」では植林も

ブラジルでの植林が如何に地球環境問題に於いて重要かということを昨年の NHK ニュースで知りました。昨年行われた COP24 の会議で国連 IPPC(気候変動に関する政府間パネル)の研究機関より地球

温暖化防止には「大気中の温室効果ガスを削減する必要がある。それには CO2 削減も必要だが、植林が一番有効手段である。中でもブラジルでの植林が一番重要である」という発表がされたそうです。オイスカでは各地で「子供の森計画」として植林活動を行っておりますが、その中でも最重要と言われるブラジルの植林に参加出来たことに感慨深いものがありました。



野口総領事と参加者達

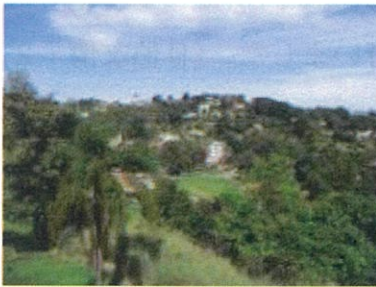


殆どの土地で木が伐採され牛の放牧地に

## 陶芸の町クーニャ

クーニャはサンパウロから 250 km 離れたところにあり標高 1600 メートルの丘陵地帯にあります。自然豊かな小さな田舎町ではありますが陶芸の町として知られ多くの日本人陶芸家も住んでおり、登り窯も設置されていました。

又町には陶芸家達のギャラリーも数多くあり、小さな温泉施設もありました。



クーニャの町並み(坂だらけ)



日本人が設置した登り窯(稼働中)



町には多くのギャラリーがある

## ブラジル移民先没者慰霊碑参拝

110 年前日本からブラジルへ移民として渡った方達の中で、子供や高齢者は、栄養失調とマラリア等により多くの方達が亡くられました。その方達の御霊を慰霊するためにこの碑が建立されました。天皇陛下をはじめ皇族方も必ず参拝されるそうです。



オイスカも献花



ブラジル日本都道府県人会山田会長と

# サンパウロ総合大学構内にて

日本ブラジル移住 110 周年を記念して日本ブラジル移住者協会がサンパウロ総合大学構内にある日本庭園を 1 年かけて修復しました。その記念に総裁も植樹をされたそうです。



2017 年日本庭園で中野総裁が植樹された桜



天皇陛下がブラジルを訪問された記念碑



以前総裁が植樹された木が大きくなっていました



野生のカピバラが 50 頭ほど住み着いていました

## ブラジル日本館

サンパウロ市内の中心部から少し離れたところに、日本の文化を紹介する日本館がありました。まだ年数は経っていないようですが、入ってびっくり。日本文化が紹介されて無いといっても過言ではないくらいでした。もしこれを日本文化と理解されたら哀しくなるでしょう。本当の日本の伝統文化を紹介して欲しいと思ったのは私だけでしょうか？



日本館外観



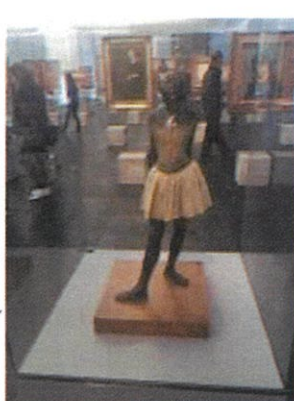
昔の物等が商品として販売されていました



中には、昔商家で使用人が使っていた麻の紺色の前垂れなども販売、奥の休憩スペースでは、昔の本などが閲覧できるようになっていました。着物などの展示は一切ありませんでした。

## サンパウロ美術館

皆様も良くご存知のサンパウロ美術館を見学する事ができました。世界の名だたる芸術家達の作品がそのまま無造作に手の届くところに展示されていました。ルノアールやラファエロ、モネの睡蓮、マネ、ドガの踊り子、ピカソ、ゴーギャン、ムンクなど数多くの展示物がありました。



(カメラ撮影禁止のためスマホで撮影しました。)

## サンパウロ市街歩行者天国

日本総領事館のあるメインストリートでは休日のため歩行者天国になっていました。日本と違い道路で屋台を出して飲食の提供や物品の販売などは行われていません。ストリートライブなどが行われていました。同じブラジルでもサンパウロとリオデジャネイロでは風習など大きく違いがあるそうです。(サンパウロは一生懸命働く、リオは遊びが中心。\*この違いは後述で)



サンパウロ中心街（道路も広い）



物品販売の準備をする人



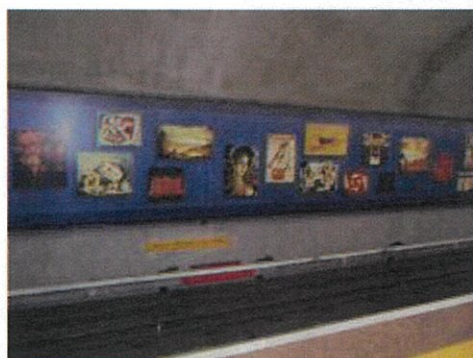
屋台（設置場所が指定されている）

## サンパウロ地下鉄

ブラジルの交通機関は車が主です。その為トロリーバスなどが縦横無尽に走っています。地下鉄はオリンピック開催のため公共交通として敷設されたそうです。ホームも広く壁面はアートの展示場かと思うほどです。感心したのは車内がそれぞれ3席ずつに区切られておりその内1席はシルバーシートになっていて、人々は必ず席を譲っていることでした。又料金体系も65才以上と子供・妊婦・障害者は無料。全区間一律料金（日本円で140円位）

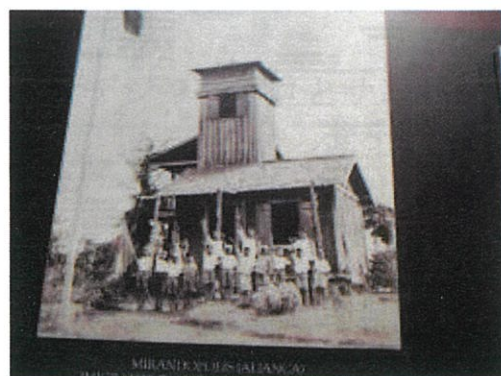


地下鉄の壁面はアート展示場？

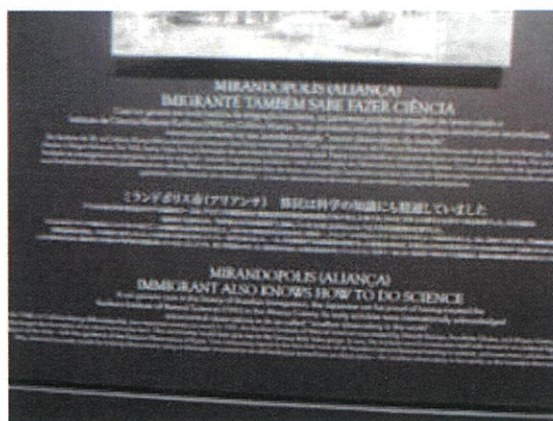


3席に1席はシルバーシート

## ブラジル日本移民資料館



一つの家屋に大勢の人が住んでいました



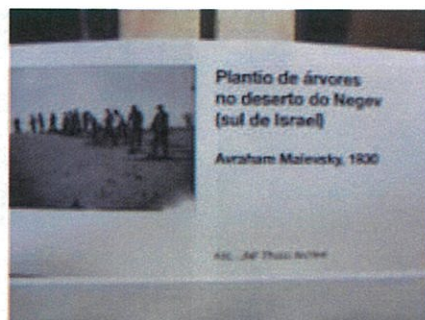
移民は科学の知識にも精通していました



往時を偲ばせる品々が数多く展示されていました

## イスラエル建国 70 周年記念 KKL 世界大会カクテルパーティーに参加

イスラエル建国 70 周年記念 KKL 世界大会がサンパウロで開催され、そのカクテルパーティーに日本からの 3 人とオイスカブラジルの高木オズワルド副会長が招待されました。KKL とはイスラエル建国以前から、やがて建国されるであろうイスラエルの地が砂漠であった為、将来を見越し 130 年前から基金を集めその地に植林を 90 年以上前から行ってきたユダヤ人の世界的組織です。これは世界経済に多大な影響力のあるユダヤ基金と連動している団体です。今回はサンパウロで世界大会が行われ、KKL のトップと No.2、在ブラジルイスラエル総領事等がイスラエル本国のメディアを連れ、また全世界から代表者が大勢参加しておりました。



KKL ブラジルの施設

渡辺副総裁（中心）と

1930 年には大規模な植林活動を展開

今回クーニャでの植林参加を呼びかけたところ、逆に KKL のパーティーに招待されました。他国からの参加は初めてだそうです。オイスカイスラエル総局は 1989 年に発会し、その発会式には総裁他多数参加し、植林を行っております。

今回参加した代表者の名刺

「教育と開発」を推進する

# OISCA

1989/3

共同で途上国協力を！

イスラエル総局が発会

公開講座 ■ 現代中国をどう見るか / 石原享一  
オイスカ・イスラエル総局が発会  
● 特集 / 私たちの見たアジア (写真保存巻)

**KKL**  
Daniel Abar  
Diretor Executivo - KKL-IBR  
Rua ZS2  
Jardim  
São Paulo, SP 05508-900  
Tel: 011 3061-5566  
Fax: 011 3061-5568  
E-mail: d.abar@kkk.org.il

**Consulato Geral de Israel**  
Dori Gevert  
Consul Geral  
Rua Manoel de Barros, 117  
Jardim Paulista  
São Paulo, SP 05425-900  
Tel: 011 3061-5566  
Fax: 011 3061-5568  
E-mail: dori@kkk.org.il

**Hebraica**  
Diretor Administrativo  
Rua Parnaíba, 1065 - 7º andar  
Jardim Paulista - São Paulo - SP  
05425-900  
Tel: 011 3061-5566  
Fax: 011 3061-5568  
E-mail: dori@kkk.org.il

**Edoardo El Kubbi**  
Diretor de  
Relações Institucionais  
Rua Parnaíba, 1065 - 7º andar  
Jardim Paulista - São Paulo - SP  
05425-900  
Tel: 011 3061-5566  
Fax: 011 3061-5568  
E-mail: edoardo@kkk.org.il

**Camara Municipal de São Paulo**  
Gilberto Nizalini  
Médico e Tradutor - Avenida Teófilo 379/377  
Vila São Carlos, 188 - 7º andar - São Paulo - SP 05425-900  
Tel: 011 3061-5566  
E-mail: gilberto@kkk.org.il  
www.kkk.org.il

**HEZI CARP**  
Diretor Executivo  
Rua Parnaíba, 1065 - 7º andar  
Jardim Paulista - São Paulo - SP  
05425-900  
Tel: 011 3061-5566  
Fax: 011 3061-5568  
E-mail: hezi@kkk.org.il

**EMERSON LEN**  
Diretor Executivo  
Rua Parnaíba, 1065 - 7º andar  
Jardim Paulista - São Paulo - SP  
05425-900  
Tel: 011 3061-5566  
Fax: 011 3061-5568  
E-mail: emerson@kkk.org.il

**LEN**  
Diretor Executivo  
Rua Parnaíba, 1065 - 7º andar  
Jardim Paulista - São Paulo - SP  
05425-900  
Tel: 011 3061-5566  
Fax: 011 3061-5568  
E-mail: len@kkk.org.il

**ISRAEL**  
Diretor Executivo  
Rua Parnaíba, 1065 - 7º andar  
Jardim Paulista - São Paulo - SP  
05425-900  
Tel: 011 3061-5566  
Fax: 011 3061-5568  
E-mail: israel@kkk.org.il



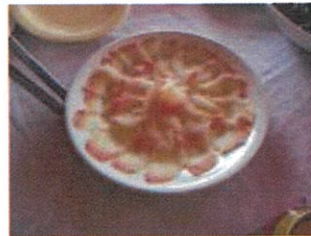
## 中沢農園にて

中沢農園はサンパウロ空港より60km離れたアチバヤという所にありブラジルのスイスと言われて  
いる環境の良い場所にあります。農園主中沢宏一氏はブラジル移住者協会初代会長でブラジル宮城  
県人会会長でもあり。オイスカには当初より御協力頂いており、植林用の苗は中澤さんのご提供に  
よります。東日本大震災の際にはオイスカ海岸林再生プロジェクトにも多大なご寄付を頂き、又県  
人会に呼びかけ、オイスカを通して宮城県に子供の教育資金にと1千万円を寄付されました。ブラジ  
ルに於いての街路樹の植樹や日本からのサッカー留学生の受け入れを無償で行うなど多岐に亘り活  
動されています。

今回、アルゼンチンとウルグアイからの参加者と共に訪問し、記念植樹等行いました。又、ブラジ  
ル原産のオラ・プロ・ノビスというサボテンの原種を分けて頂き各国に持ち帰り栽培に成功してい  
ます。アマゾンの巨大魚ピラクルの養殖施設等見学しました。



10年前総裁が植樹されたイペーの木（ブラジルの国木） 後列（酒井、松永（パラグアイ） 文野（アルゼンチン） 幸坂、比嘉（パ  
ラグアイ） 前列ルイス（オイスカブラジル） 大橋、渡辺副総裁

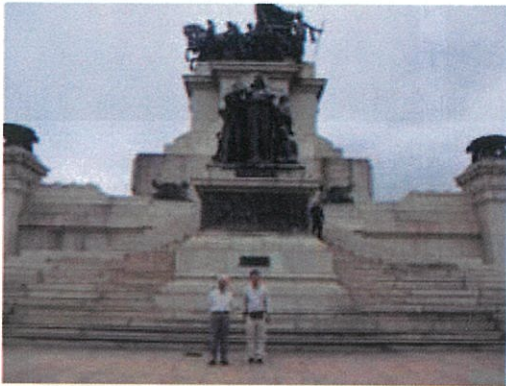


オラ・プロ・ノビスの木 加熱したオラ・プロ・ノビス ピラクルの刺身 ピラクル

## リオデジャネイロとサンパウロの違い（歴史的背景）

ブラジルはアジアから渡った人種により8000年位前に築かれてきましたが、16世紀～18世紀にはポルト  
ガルの植民地でした。しかし、19世紀にポルトガルのブラガンサ王室の皇太子がブラジルを統治して  
いたとき、独立を宣言。戦争もなく独立したということです。この時の皇太子がリオを理想郷（奴隷  
を使い、自分たちは遊んで暮らす）にする為にアフリカから多くの奴隷を連れてきて優雅に遊んで  
暮らしたそうです。一方サンパウロは当時ポルトガルからの流刑地のような位置づけでそこに来た  
人は働かなくては食べることもできず、原住民と交流し生活の糧を得たり結婚するなどし、労働する

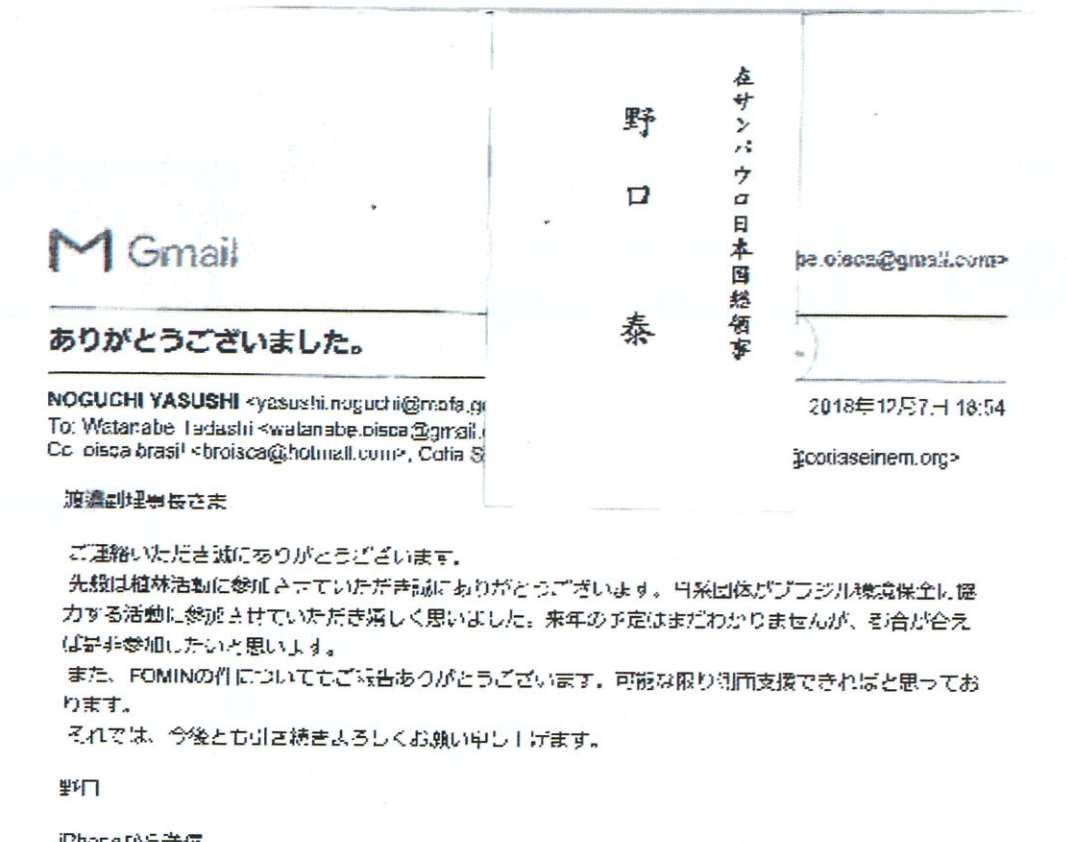
ことが当然という意識が生まれたそうです。それが現在にも引き継がれて、リオの人は遊び好き、サンパウロの人は一生懸命働くと言う風になったそうです。サンパウロは多くの日本人が居住し、日本人街もあり、治安は安定しています。又多くの和食店、すし屋や、ラーメン屋が軒を並べていました。非常に陽気で親日的な人が多く、又日系人は非常に優秀な人物が多いようです。



ブラジル独立記念碑（公園になっている）

### 植林参加者

- ・野口 泰在（サンパウロ日本総領事）      ・渡辺 忠（オイスカインターナショナル副総裁）
- ・高木 ラウル（オイスカブラジル会長）      ・高木 オズワルド（オイスカブラジル副会長）
- ・花田 ルイス（オイスカブラジル副会長） ・オイスカブラジル会員
- ・文野 和義（アルゼンチン拓殖協同組合理事長）
- ・松永 真一（オイスカイグアス支部長・パラグアイ）
- ・幸坂 佳次（パラグアイ日本人会環境保護委員長）
- ・比嘉 正勝（イグアス日本人会前会長）      ・杓田 美代子（ブラジル日本移住者協会会長）
- ・ブラジルコチア青年団（日系人）      ・クーニャ地区住民      総数 40 名参加



野口総領事より渡辺副総裁へのお礼状

## 植林証明書



今回、ブラジルを訪問して感じたことはブラジル在住日系人の祖国を思う気持ちの強さ、二世・三世の時代でありながら、自分は日本人であるという意識とプライド。そして「日本に何かあったら私たちが助ける、その為にここにいるのです」という言葉に、逆に恥ずかしくなりました。日本にいながら安閑と、日本人であるという意識すら持っていないかも知れない私たちに、鋭利な刃物で胸を刺されたような衝撃を受けました。と同時にここまで祖国を思って下さっている方達を心強く感じ感謝の気持ちでいっぱいでした。日本に生まれ育った私たちが日本という国を再認識し素晴らしい国に生まれたことを誇りに思う良い機会でした。同行した息子もかなりのカルチャーショックがあったようでした。本当に素晴らしい経験をさせて頂きました。又現地の方達の素朴で心優しい側面にもふれることができ、人の心に言葉はいらぬことを実感しました。有り難うございました。今回お世話下さった皆様に心より感謝申しあげます。

今年 12 月に植林があります。皆様も是非ご参加頂き、直に触れ合って体験して頂ければ幸いです。

追：ブラジルは太陽の国、太陽の恵みを受けて育った果物・野菜とてもおいしかったです。

乳製品も美味しいです。

岐阜県支部大橋美知子

## 今回の訪問先

- ・在サンパウロ日本総領事
- ・中沢農園
- ・ブラジルニッケイ新聞社
- ・先没者慰霊碑
- ・ブラジル商工会議所
- ・サンパウロ総合大学
- ・ブラジル日本移民資料館
- ・ブラジル日本館
- ・サンパウロ美術館
- ・クーニャ町
- ・日伯友情 21 世紀の森
- ・日伯友情絆の森
- ・クーニャ町登窯窯元
- ・KKL ブラジル